

- これまで現状値や目標値の算出の際には、産肉能力検定のデータを使用してきたが、近年では検定頭数が減少傾向であることから、今後は遺伝的能力評価のデータを使用し算出したい。
- DGについて、産肉能力検定では30-105kgの数値である一方、遺伝的能力評価では0-105kgの数値であり、これまでの目標値との連続性が失われる。
- そこで、以下の方法により、遺伝的能力評価のデータから30-105kgにおけるDGを推計する。

【各評価におけるDG】

産肉能力検定におけるDG: 体重が約30kgから約105kgになる所要日数から割り算した値

遺伝的能力評価におけるDG: 生時体重を0kgとし、測定体重(90kgから120kgまでの範囲)を測定時日齢で割り算した値

【DGの推計方法】

○産肉能力検定におけるDG算出式

$$DG(30-105kg) = \frac{\text{①検定終了時体重} - \text{②検定開始時体重}}{\text{③検定終了時日齢} - \text{④検定開始時日齢}}$$

この式に代入し
30-105kgの
DGを推計

・推計時の使用データ

産肉能力検定の項目	推計時に用いるデータ
①検定終了時体重 (105kg)	遺伝的能力評価の測定時体重
②検定開始時体重 (30kg)	同左
③検定終了時日齢	遺伝的能力評価の測定時日齢
④検定開始時日齢	NLBCIにおける30kg到達平均日齢

○DGの現状値案

品種	遺伝的能力評価 (H27-29平均)				産肉能力検定 (H27-29平均)		④ ②と③の加重平均	n
	①生時-105kg	n	②30-105kg (推計値)	n	③30-105kg	n		
B	531	214		214	702	248		462
L	637	242	850	242	945	39	863	281
W	646	422	891	422	1019	75	910	497
D	702	399	990	399	996	89	991	488